

西牧大使のフォーカス FM コミュニティ・ラジオ局への訪問及び 生放送ラジオインタビュー番組への出演（令和 6 年 7 月 18 日）

2024/07/18

令和 6 年 7 月 18 日、西牧大使は、ウィントフック市内のフォーカス FM コミュニティ・ラジオ局を訪問し、国連人口活動基金 (UNFPA) が日本の補正予算で実施している「誰も取り残さない 新型コロナウイルスからのよりよい復興、すべての人たちの尊厳の回復、未来の再創造、ジェンダーに基づく暴力がもたらす負の影響の緩和」プロジェクト（以下、「誰も取り残さない」プロジェクト）を通じて調達した放送関連機材を同ラジオ局に供与しました。また、西牧大使はこの訪問に際して、ラジオの生放送番組でインタビューを受けました。

フォーカス FM コミュニティ・ラジオ局とクネネ・コミュニティ・ラジオ局は、「誰も取り残さない」プロジェクトの受益者で、昨年 11 月、両ラジオ局は性暴力に対処する能力を向上させ、性と生殖に関する健康、メンタルヘルス、心理的サポート等のテーマについて重要な情報を発信するための研修を受けました。

約 12,800 米ドルの新しい放送機材を受け取ったフォーカス FM コミュニティ・ラジオ局のスナイダー代表は、「今回ご寄贈頂いた最新鋭の放送機材によって、我々フォーカス FM は、地域社会に貢献するためのより良い設備を整え、重要なニュースや教育コンテンツを全国各地に届けられるようになった。」と説明しました。



西牧駐大使が、フォーカス FM のシヤンドゥ・ラジオ・パーソナリティーからの質問に回答する形で、日本の対ナミビア経済協力や UNFPA が日本の補正予算で実施中の「誰も取り残さない」プロジェクトについて説明しました。

以下の YouTube リンクから、インタビューの全文をご覧ください。

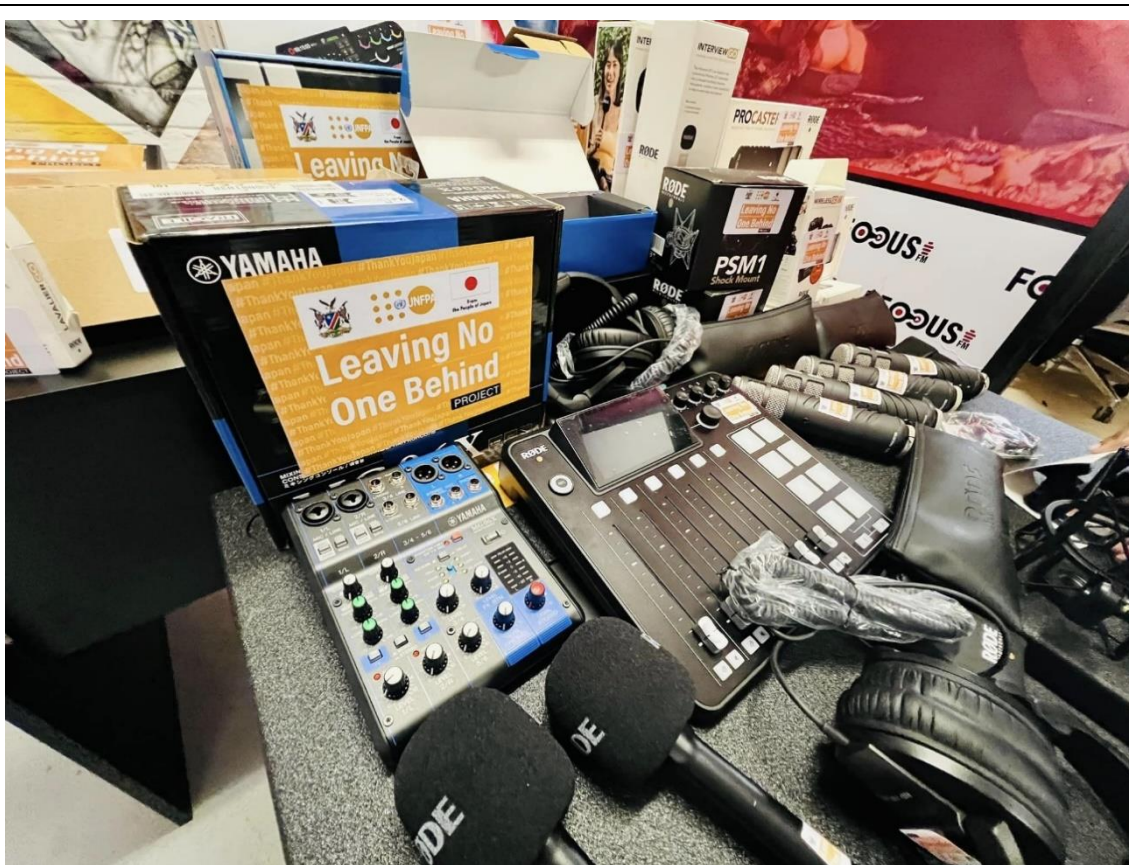
<https://www.youtube.com/watch?v=57e0aZExE5Y>



写真（上）：フォーカス FM コミュニティ・ラジオのサイモン・ラジオ・パーソナリティ（写真右）に、ラジオ局内を案内される西牧大使（中央）と、アムコンゴ UNFPA ナミビア副代表（西牧大使後方）及びアルフェウス UNFPA 職員（写真左）。

写真（下）：西牧大使から寄贈された放送機材を受け取るフォーカス FM のスナイダー代表





寄贈された放送機材によって、フォーカス FM は、スタジオの外からでもラジオ放送が出来るようになりました。また、寄贈した機材には、電気ない状況でも放送ができるようにするための移動式発電機も含まれています。



(写真提供：UNFPA)